

メトホルミン塩酸塩錠250mgMT・500mgMT「ニプロ」 を服用される患者さんへ

— 以下の内容をご家族やまわりの方にもお知らせください —

メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」は、血糖値を下げるおくすりです。まれに**乳酸アシドーシス**や**低血糖**を起こすことがありますので、以下の点にご注意ください。

錠250mgMT「ニプロ」



実物大



80% 縮小

錠500mgMT「ニプロ」



実物大



80% 縮小

錠剤からのおくすりがありますが、品質・安全性・有効性に問題はありません。

おくすりの飲み方について

- 医師または薬剤師の指示通りに飲んでください。
- 食事をとれなかったとき、服用をどうするかは、医師または薬剤師にご相談ください。
- 飲み忘れたときは、次の服用の時間に1回分を飲んでください。2回分を一度に飲んではいけません。

乳酸アシドーシスについて

乳酸アシドーシスとは血液中の乳酸が異常に増えて血液が酸性になった状態で、治療が必要な副作用です。**乳酸アシドーシスは早期治療とともに予防も大切です。**

症状と対処法

症状は、吐き気、嘔吐（おうと）などの胃腸症状、全身がだるい、筋肉痛、呼吸が苦しいなどです。

これらの症状がひどいときまたは続くときは、メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲むのをいったんやめ、すぐに医師にご連絡ください。



予防するには

●腎臓、肝臓、心臓や肺に病気のある人、透析を受けている人、乳酸アシドーシスを起こしたことがある人は医師に申し出てください。

●**脱水状態**のときは、メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲まないでください。

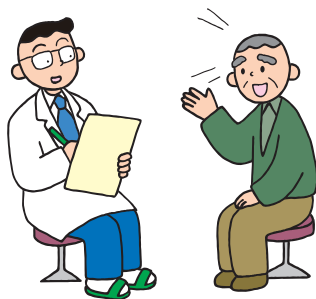
・熱があるとき、下痢、嘔吐があるとき、食欲がなく食事がとれないときには脱水を起こすことがありますので、メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲むのをいったんやめて、医師または薬剤師に相談してください。

・**脱水を予防するため、適度に水分をとるように心がけてください。**

●**お酒を飲み過ぎないでください。**

●次のときには、メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

- ・手術を受けるとき
- ・**ヨード造影剤**と呼ばれる薬を使う検査や治療（造影CT、尿路造影、血管造影など）を受けるとき
- ・何か別の薬をもらうとき



低血糖について

低血糖とは血液中の糖分が少なくなりすぎた状態です。低血糖になっても軽いうちは糖分をとると治まります。平素から**ブドウ糖 (10g)** あるいは**ブドウ糖を含む食品を必ず携帯し、低血糖と感じたら直ちにとることが必要です**。がまんしてはいけません。

症状と対処法

- **症状は、強い空腹感、力のぬけた感じ、冷や汗、手足のふるえ、動悸、めまい、ふらつき、頭痛などです。**

これらの症状が起こったら、すぐにブドウ糖、ブドウ糖を含む食品などをとってください。



- **α -グルコシダーゼ阻害剤**と呼ばれる薬（アカルボース（商品名：グルコバイなど）、ボグリボース（商品名：ベイスンなど）、ミグリトール（商品名：セイブルなど））を併用している場合には、砂糖は不適切です。これらの薬剤は砂糖の消化や吸収を遅らせますので、必ず**ブドウ糖 (10g)** をとってください。

- ブドウ糖やブドウ糖を含む食品をとれば通常5分以内に症状は改善しますが、よくならないときや「意識がなくなる、けいれんを起こす」などの場合にはすぐに医師にみてもらうようにしてください。

- **高い所での作業、自動車の運転等に従事しているときに、低血糖を起こすと事故につながる可能性があります。特に注意してください。**

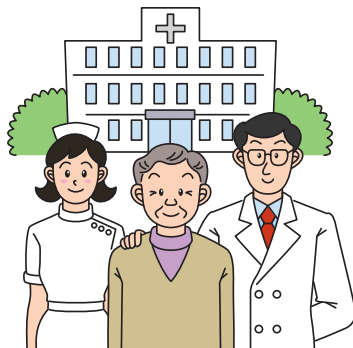
- 低血糖を起こした場合は、必ず早めに医師に報告してください。

予防するには

- 薬の量や飲み方は医師または薬剤師の指導を守り、また食事療法や運動療法もきちんと守ることが大切です。
- 食事量の不足（食事をみだりに減じる、食事を抜くなど）や食事時刻の遅れ、お酒の飲み過ぎ、激しい運動、下痢などは低血糖を起こしやすいので注意してください。

定期検査について

- メトホルミン塩酸塩錠MT「ニプロ」を飲んでいるときは、定期的に腎機能や肝機能の検査が行われます。腎臓に病気のある人、高齢の人では検査の回数が多くなることがあります。



MEMO

連絡先等